

連続講座

移住者の権利キャンペーン2020
「ここにいる koko ni iru.」企画

移民二世からの研究発信

外国から出稼ぎ労働者が来日するようになって30年が経過し、日本で育った子ども世代のなかから、「移民研究者」が誕生しています。「移民」を、みずから経験してきた研究者たちは、自分たちを対象としてきた先行研究をどのように読み、研究者としてみずからはどのようにアプローチしていくのでしょうか。

第5回目は、移住者の子どもたちの教育をめぐる、松田デレクさんとラファエラ・オリバレス・ヨシイさんの報告と宮島喬さんのコメントです。



報告①: 松田デレク(お茶の水女子大学)
「在日ペルー人保護者の教育観: 神奈川県における質的調査より」

報告②: ラファエラ・オリバレス・ヨシイ(東京大学大学院)
「在日ブラジル人学校の子どものための大学進学」

コメンテーター: 宮島喬 (お茶の水女子大学名誉教授)

日時: 2018. 6. 23. (Sat.) 13:30~17:00

場所: 上智大学四谷キャンパス
(東京都千代田区紀尾井町7-1)



中央図書館(L号館)9階 L-911会議室

* 図書館入口カウンターで「連続講座参加」の旨をお伝えください。

申し込み不要・無料

移住者の権利キャンペーン2020
「ここにいる koko ni iru.」
とは

移住者と連帯する全国ネットワーク(移住連)は、移住者と多様なルーツをもつ人々の権利と尊厳が保障される社会、制度、政策をめざして、多くの人が参加し、意見を出し合う場をつくる、移住者の権利キャンペーン2020「ここにいる koko ni iru.」をスタートしました。

タウンミーティングなどを通し、移住者あるいは外国にルーツを持つ方々が「ここにいる」ことを社会に広めるとともに、2020年に向けた政策提言を発表します。

主催: 上智大学グローバルコンサートン研究所

共催: NPO法人移住者と連帯する全国ネットワーク貧困対策プロジェクト

問い合わせ先: Tel: 070-6519-1391 E-mail: inabanako@gmail.com (稲葉)